

新小岩公園再整備事業

第5回説明会

—レクリエーション・防災の拠点を目指して—

本日の説明内容

- 1.これまでの振り返り
- 2.ゾーニング・全体配置計画
- 3.デザインのテーマ
- 4.屋内施設
- 5.完成イメージ
- 6.今後のスケジュール
- 7.質疑応答

開催日時と場所

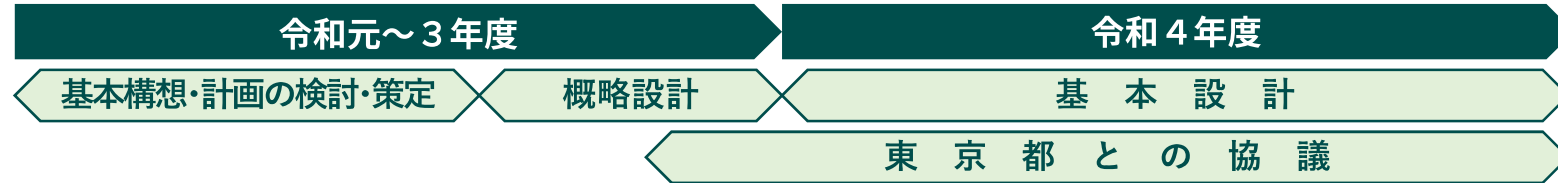
令和5年2月27日(月)
19:00~20:00
新小岩北地区センター
ホール

1

これまでの振り返り

これまでの振り返り

1-1



基本計画

1-2

新小岩公園再整備基本計画

地域のみなさまのご意見をより具体的に反映した基本計画を作成しました

令和2年10月に策定いたしました「新小岩公園再整備基本構想」に基づき、引き続き検討会を開催し、地域のみなさまのご意見をより具体的に反映した「新小岩公園再整備基本計画」を作成しました。

本基本計画は、憩い・賑わい空間であり、かつ、多様な災害に対応した応急活動拠点となる新小岩公園の再整備に向けた基本機能と整備方針について取りまとめたものです。

基本構想

理念～「未来志向の公園づくり」～

より多くの地域住民・世代に親しまれ、多様な災害に対応した応急活動拠点（水害時等の受援拠点）としての防災機能を有し、公園内外の回遊性も有するなど、地域の街づくりとも連携した「未来志向の公園づくり」を目指します。

基本方針

防災機能の強化

地震・風水害・その他大規模災害等の多様な災害に対応した応急活動拠点（水害時等の受援拠点機能）を有する公園とします。

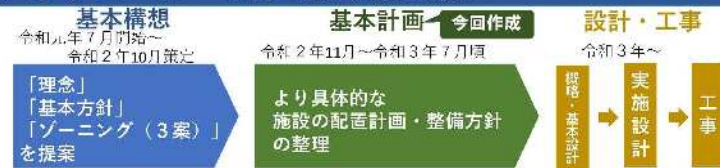
憩い・賑わい空間の創出

多様なスポーツ、健康促進、地域イベント活動、憩いの場、緑とふれあう場となるなど、より多くの地域住民・世代に親しまれ、賑わいを創出する公園とします。

まちと共に発展

公園周辺地域における民間・公共施設の整備や街づくりの取組と連携し、多様な社会ニーズに対応するなど、長期的発展を目指した公園とします。

スケジュール ～令和3年度から設計の検討～



基本計画の前提条件

東京都の緩傾斜型堤防整備事業との連携

東京都の緩傾斜型堤防整備事業と連携し、周辺道路（歩道）からアクセスしやすく、災害時（水害時等）に高台へのアクセスが可能な都道交差点部（橋詰部）とします。

各機能の保全・更新

スポーツ、自然・遊び、賑わい、受援拠点等の各機能を備え、将来の社会ニーズに柔軟に対応できる施設配置とします。

周辺環境を踏まえたその他条件

平時の公園利用者、緑やイベントを行えるオープンスペース、周辺環境などと整合した計画とします。



緩傾斜型堤防と一体的な高台ゾーンの整備イメージ



東京都が整備予定の緩傾斜型堤防



新小岩公園の再整備イメージ

基本計画

1-3

基本機能と整備方針

①緩傾斜型堤防

緩傾斜型堤防整備事業との連携
東京都の緩傾斜型堤防整備事業と連携し新小岩公園再整備を行います。

②高台広場

斜面と一体的な芝生広場（平時）
日常の遊び場や見晴らしの良い憩いの場からイベント活用まで、斜面と一体的に活用できる芝生広場とします。



多機能防災拠点（水害時等）
都道と一体的な高台を整備し、水害時等は対岸ネットワークや高速道路を利用した多機能防災拠点とします。



③斜面広場

緩やかな斜面がある小さな子どもも遊べる広場
高台広場と自然・遊び広場をつなぐ緩やかな斜面の広場で、地形を活かして小さな子どもも遊ぶことのできる広場とします。



④自然・遊び広場

様々なイベント利用ができる緑と遊びの広場
イベント時の利用を想定し、広場中央の空間を広く確保し、木陰空間や遊具を配置するなど自然を感じながら遊び憩える芝生広場とします。



⑧バリアフリー園路

高台部へ繋がるバリアフリー園路
公園外周部に高台部へ繋がるバリアフリー園路を確保します。



⑤屋内施設・賑わい広場

災害用資機材倉庫等の防災機能を備えた施設
水害時にも高台からアクセス可能な位置（建物2階）に災害用資機材倉庫等の防災機能を備えます。
公園を広く見渡せる休憩スペース
多目的スポーツ広場や自然・遊び広場を見渡すことのできる休憩スペースとします。
高台とのアクセス確保
建屋内にエレベーターを整備し、高台とのバリアフリー動線を確保します。



⑦小規模スポーツ広場

硬い舗装でのスポーツができる広場
3on3やスケートボード等を想定して、硬い舗装の仕様とし、フェンスで囲われた広場を2区間設けます。



⑨エントランス ⑩新小岩駅北口とのアクセス

エントランスの演出
賑わいのあるエントランスの演出とします。
街づくりとの連携
新小岩駅北口とのアクセスについて、街づくりとの連携を図ります。



第4回説明会

新小岩公園再整備事業 説明会通信 vol.1

日頃から、葛飾区のまちづくりにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
さて、新小岩公園の再整備については、令和3年7月に基本計画を策定した後、概略設計を実施し、今年度は基本設計に取り組んでいます。基本設計を進めていくにあたり、施設や植栽等についての方針をご報告し、ご意見を賜るため、以下のとおり第4回説明会を開催しました。説明会には18名の地域の方にご参加いただき意見交換を行いました。

01 開催概要

日時・場所 日時：令和4年11月21日（月）19:00～20:30
場所：新小岩地区センター4階ホール

説明会の流れ

1. これまでの振り返り
2. 基本設計コンセプト
3. ゾーニング
4. 全体配置計画及び各施設
5. 植栽計画
6. 屋内施設
7. 今後のスケジュール
8. 質疑応答



説明会の様子

02 基本設計コンセプト

未来志向の公園づくり

まちを守り、まちに愛され、まちを育む

—— まちのシンボルとなる公園 ——

整備方針の取り組みや新小岩エリアの地域性や風土などを取り入れることにより、地域住民の拠り所として「誇り」や「愛着」を創出し、「まちのシンボルとなる公園」とします。

- 整備方針
- 守 防災機能の強化
 - 愛 憩い・賑わい空間の創出
 - 育 まちと共に発展

03 ゾーニング



基本計画時の図面



基本計画時の図面から4つのゾーンを抽出し、各ゾーンが重なるエリアを「ステップゾーン」として、公園の中心に位置し、各ゾーンをつなげる重要な要素として位置づけます。

04 主なご意見と回答

Q
和楽亭のような施設ができるのか？

A
屋内施設内に賑わいを創出するため、屋外を眺望できる空間や飲食施設ができると良いが、運営方法や収益性も含めて検討していきます。

Q
いつ頃、完成するのか？

A
実施設計を令和5、6年度に予定しており、引き続き工事着手したいと考えていますが、東京都との連携が重要ですので、現時点では明確な予定をお伝えすることができません。なお、2期に分けての工事を予定しており、1期では東側の多目的スポーツ広場から着手し、先行して供用開始します。2期では高台等の西側を整備しますが、基盤整備に時間がかかることを想定しています。

Q
喫煙所、ゴミ箱を廃止してほしい

A
喫煙所は、喫煙、禁煙両者の声を聞き、検討していきます。ゴミ箱についても設置の有無を今後検討していきます。

Q
東京都との関係はどのようになっているか？

A
東京都が計画している堤防の強化と合わせて、公園内に高台を整備することで、多様な災害に対応できるようにしています。今後も継続的に連携を図っていきます。

Q
背もたれのあるベンチや日陰を多くつくってほしい。

A
所々に屋根付きの休憩所を設置する予定です。木陰などへのベンチの配置や暑い時期への対応について十分に配慮して、今後検討していきます。

Q
大人にも子どもにも素晴らしい計画だと思う。みんなの意見を一つひとつ聞いて事業を進めていくことができるのは素晴らしい。

A
この公園が街の魅力、地域の資源として実現できるように進めていきます。

05 今後のスケジュール



第5回説明会のご案内

第5回説明会は、以下のとおり開催予定です。詳細が決まりましたら再度、皆様にお知らせいたしますので、ぜひご参加願います。

- 日時** 令和5年2月下旬ごろ午後7時～8時（予定）
- 場所** 未定
- テーマ** 基本設計（案）について

説明会の資料や意見交換内容等は、葛飾区のホームページにも掲載しています。

葛飾区公式サイト：トップページ > 暮らしのガイド > 住まい・暮らし > 公園 > 第4回新小岩公園再整備事業説明会
アドレス： <http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000059/1003408/1030604.html>



葛飾区都市整備部公園課建設係
担当 大石・錦木・清藤・中島
連絡先 03-3695-8385



第4回説明会

1-5

06 全体配置計画と各施設について

新小岩公園再整備事業説明会通信 ①

高台ゾーン

浸水災害時は応急活動拠点となり、平常時は様々なレクリエーションやイベントに利用できる敷地北西側のゾーンです。

エントランス広場

- ・北西ゲートからのシンボル空間
- ・舗装による各種イベントへの対応
- ・受援活動時の車両転回スペース



高台広場

- ・フレキシブルに対応できる原っぱ空間
- ・バドミントンやキャッチボールなどレクリエーションの場
- ・受援活動時の各機関活動スペース



ゲートボール広場

- ・ゲートボールに対応したダスト舗装
- ・受援活動時のヘリポート



パーゴラ(防災対応)

- ・高台広場、ゲートボール活動の休憩スペース
- ・受援活動時のテント



憩いゾーン

緑豊かな空間でくつろいだり、散策したりできる敷地南西側のゾーンです。

斜面広場

- ・斜面に合わせた休憩空間
- ・樹木を配置し緑陰空間を創出
- ・登るにつれ、景色が変化する
- ・遊具や小規模スポーツ、電車を眺めることができる
- ・中町ゲート付近から高台広場への散策ルート



緑陰の憩い空間

- ・既存樹や新植する樹木による緑陰空間
- ・レジャーシートやシェードテント等を置くことができる場



森の散策路

- ・樹林の散策ができる自然豊かなエリア
- ・南西ゲートと接続



屋内施設

防災機能とともに、平常時の賑わいを創出する機能を導入します。

6つのカテゴリ(機能)

- ① 憩い・賑わい
- ② ユニバーサルデザイン
- ③ 子育て
- ④ フレキシブルな利用
- ⑤ 防災
- ⑥ まちづくりとの連携



ステップゾーン(大階段)

- ・スポーツの観覧席・家族連れの休憩
- ・イベント時の客席・水景の鑑賞
- ・浸水時の船着場 など、様々な活動に対応できる階段状の空間です。



植栽計画

緑の資産を次世代へ継承し、四季の移ろいを感じられる植栽計画を行います。

既存樹の整備方針

- ・既存樹の保存及び移植による記憶の継承と憩い空間の創出
- ・サクラの更新による「桜の名所」の継承

新植の整備方針

- ・花や紅葉など季節ごとに魅力のある樹種の選定
- ・環境変化への耐性が高い樹種の選定
- ・維持管理の容易さへの配慮



スポーツゾーン

多目的スポーツ広場を中心とした敷地東側のゾーンです。南側には3x3コート、スケートボードエリア、フットサルコートを配置します。

多目的スポーツ広場

- ・野球場2面を配置できる広さ
- ・天然芝(外野)+土(内野)
- ・雨水一時貯留機能



観覧席

- ・南北2つの球場それぞれの1塁側、3塁側に屋根のある観覧、応援スペースを配置



にぎわいデッキ

- ・多目的スポーツ広場側に腰掛けてスポーツを眺めることができるデッキ
- ・じゃぶじゃぶ池やアスレチック遊具などで遊ぶ子どもを見守ることもできる
- ・イベント時の休憩スペースとしても活用



遊びゾーン

斜面を利用した遊具や幼児遊具、アスレチック遊具、じゃぶじゃぶ池を配置し、子どもたちが元気に遊ぶことができるゾーンです。

斜面遊具

- ・約5mの高低差のある斜面を活かした遊具を設置



幼児遊具エリア

- ・既存ケヤキの緑陰を活かした低年齢を対象とした遊具を配置
- ・児童との衝突防止など安全面に配慮



アスレチック遊具

- ・児童を対象としたアスレチック遊具を樹林内に配置



じゃぶじゃぶ池

- ・夏の遊び場として遊びゾーンに配置
- ・舗装と地続きとし、夏以外は広場としても活用

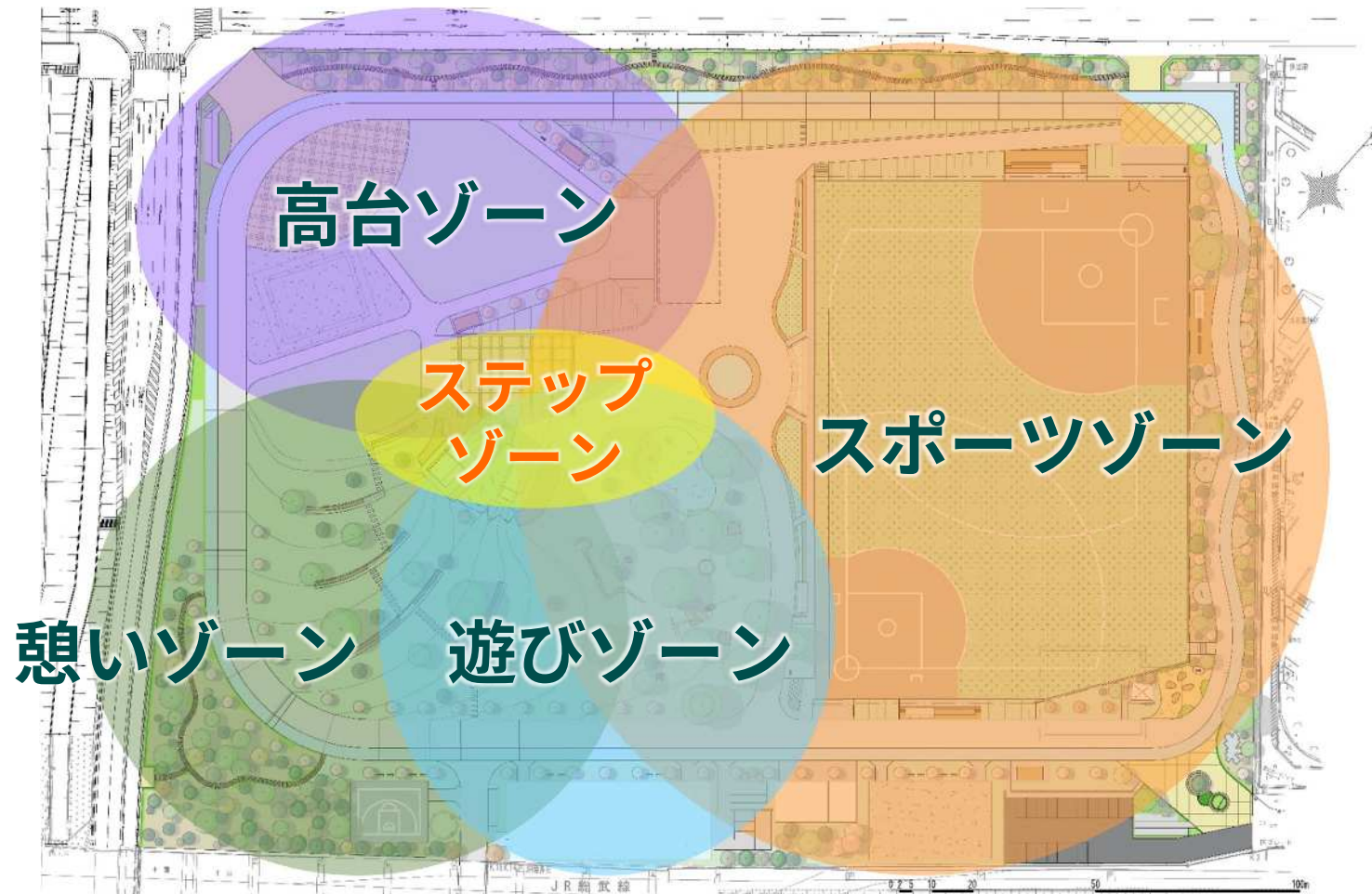


2

ゾーニング・全体配置計画

ゾーニング

2-1



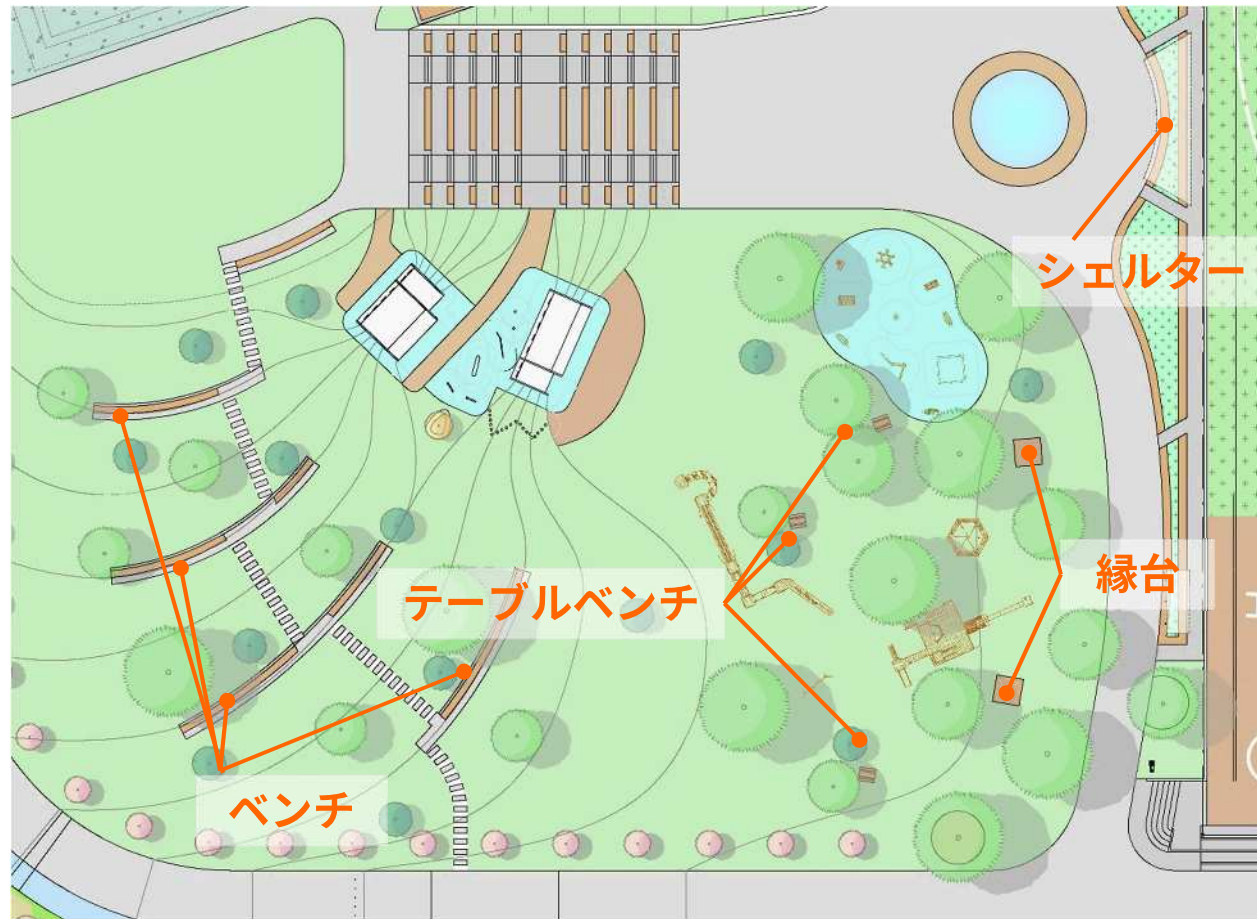
ステップゾーン：中心に位置し、各ゾーンとつながる重要な要素

全体配置計画図

2-2



日陰について（夏の木陰のイメージ）



木陰の
テーブルベンチの
イメージ

日陰について（夏の木陰のイメージ）

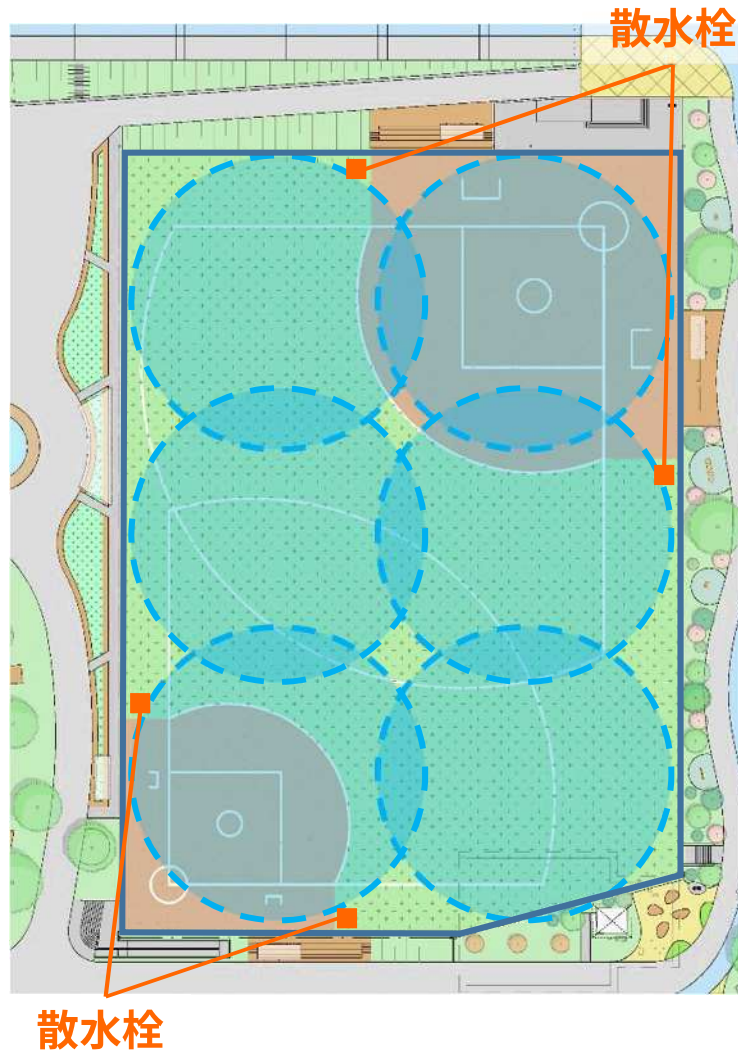


緑陰でくつろぐイメージ



縁台にかかる木陰のイメージ

散水スプリンクラーについて



- 多目的スポーツ広場内に散水栓を4箇所設置
- 移動式スプリンクラーを接続して散水



移動式スプリンクラーのイメージ

3

デザインのテーマ

基本理念

未来志向の公園づくり

まちを守り、 まちに愛され、 まちを育む

—— まちのシンボルとなる公園 ——

守

防災機能の強化

愛

憩い・賑わい空間の創出

育

まちと共に発展

「デザインコード」による統一された景観の創出

素材



色彩



「デザインコード」による統一された景観の創出



川石（玉石）



江戸小紋

まちのシンボルとなる公園へ

4

屋内施設

屋内施設の6つのカテゴリー（機能）

- ① 憩い・賑わい
- ② ユニバーサルデザイン
- ③ 子育て
- ④ フレキシブルな利用
- ⑤ 防災
- ⑥ まちづくりとの連携



屋内施設の概要

4-2

| 階 | ゾーン | 用途・内容 | |
|-----------|-------------|-----------|--------------------------------|
| 2階 | 防災倉庫ゾーン | 防災倉庫 | ・ 応急活動の資機材保管 |
| | 休憩・展望ゾーン | 休憩場所 | ・ 明るく、見晴らしの良い空間 |
| | | 展望空間 | |
| | トイレ | 男女トイレ | ・ 多様な方が利用しやすいトイレ ・ オストメイト対応 |
| バリアフリートイレ | | | |
| その他 | 倉庫・階段など | | |
| 1階 | 休憩ゾーン | エントランス | ・ 明るく、開放的な空間 ・ テーブル、椅子の配置 |
| | | 休憩場所(ホール) | |
| | 多目的ゾーン | 多目的スペース | ・ 地域の集まりやイベント、その他も活用可能な、多目的な空間 |
| | トイレ | 男女トイレ | ・ 多様な方が利用しやすいトイレ ・ オストメイト対応 |
| バリアフリートイレ | | | |
| その他 | バックヤード・階段など | | |

屋外エレベーター

・ 24時間運用
・ 自転車乗り入れ可

高台広場

▼ 地盤レベル

5m

賑わい広場

▼ 地盤レベル

① 通常時

- 100m²程度の多目的スペースを整備予定です
- 可動間仕切りにより2つに分けて様々な利用を想定しています
- 土足利用とし、会議机・椅子などの備品を常備します

< 使い方の例 >

■ 休憩・飲食

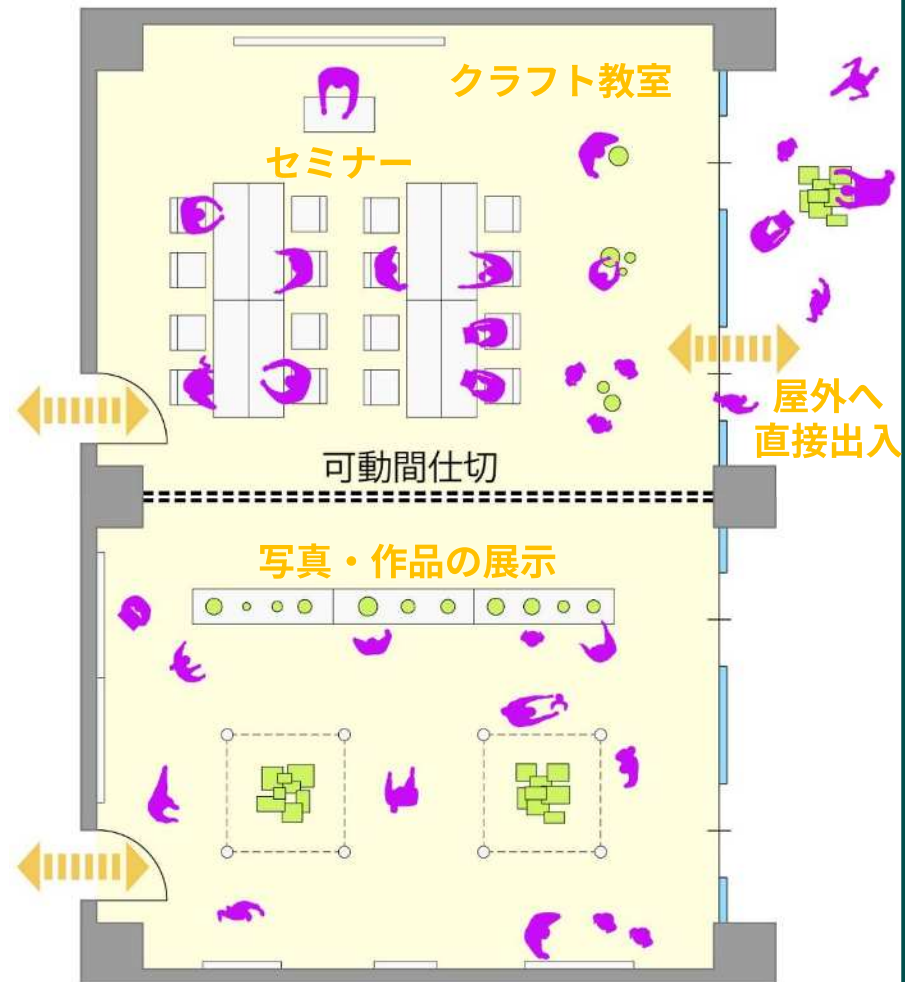
- 家族でお弁当やおやつをたべる場所

■ ワークショップ

- フォトセミナー(公園でカメラ撮影の教室)
- クラフト教室(公園内の自然素材の活用)

■ 展示

- 写真、作品の展示 など



参考イメージ

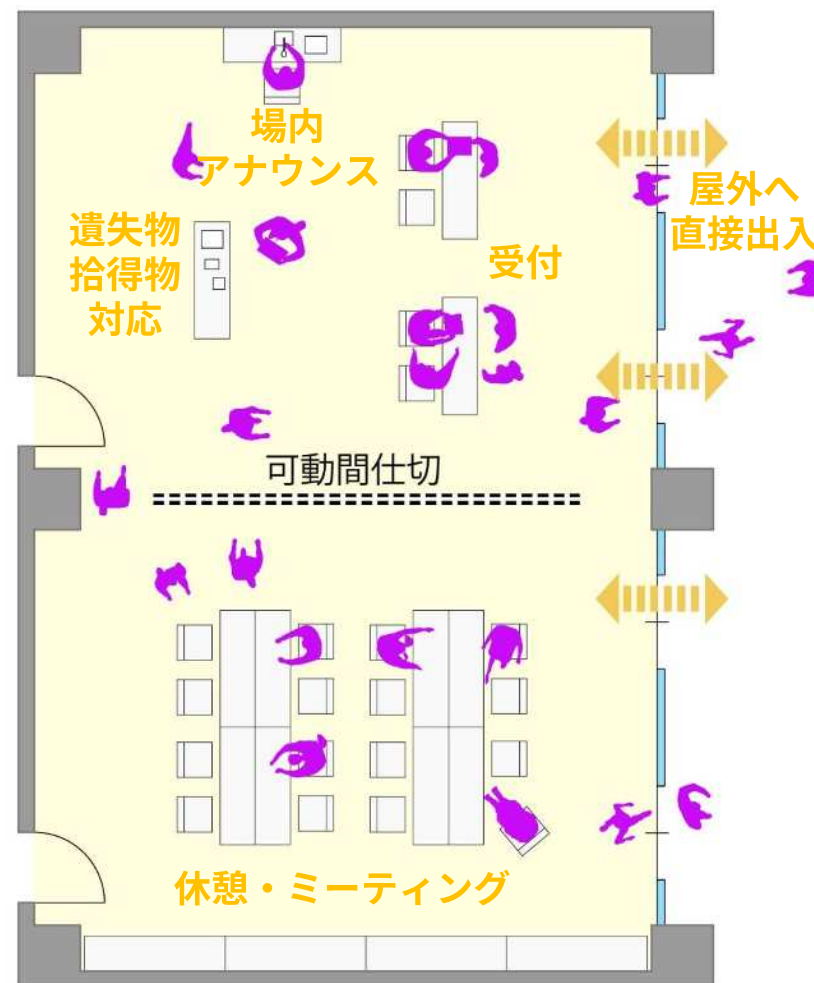
② 大規模イベント時

- 100m²程度の多目的スペースを分割し、「運営本部」と「関係者控室」として利用できます
- 参考イメージは「かつしかフードフェスタ」の運営本部と休憩・ミーティングスペースです

< 使い方の例 >

■ 運営本部

- 遺失物・拾得物対応
- 場内アナウンス対応
(通常アナウンス・迷子の呼出・緊急放送など)

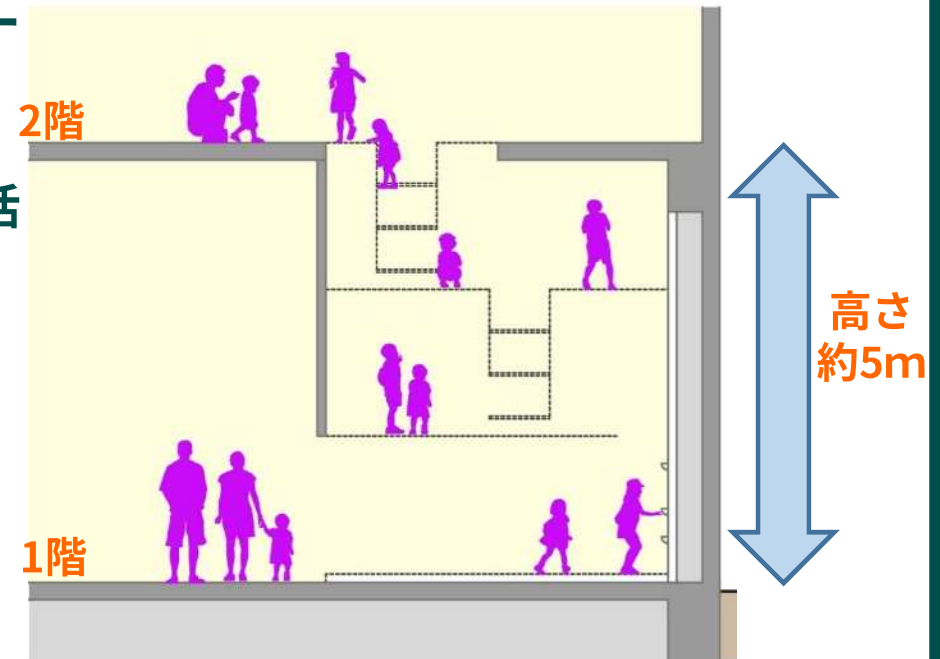


参考イメージ

キッズコーナーの整備について

4-5

- 『子育て』として、キッズコーナーを整備予定です
- 施設内の1、2階吹き抜け空間を活かした遊具を配置予定です
- 雨天でも子連れで楽しめます



参考イメージ

5

完成イメージ

完成イメージ

5-1



南東方向上空から全体を見る

完成イメージ

5-2



南東ゲート付近

完成イメージ

5-3



南側園路（西方向を見る）

完成イメージ

5-4



南側園路（東方向を見る）

完成イメージ

5-5



遊具エリア

完成イメージ

5-6



じゃぶじゃぶ池周辺

完成イメージ

5-7



大階段を見上げる

完成イメージ

5-8



大階段から見渡す（じゃぶじゃぶ池方向）

完成イメージ

5-9



大階段から見渡す（遊具エリア方向）

完成イメージ

5-10



斜面広場を見上げる

完成イメージ

5-11



斜面広場を見下ろす

完成イメージ

5-12



北西方向上空から全体を見る

6

今後のスケジュール

今後のスケジュール

6-1



7

質疑応答

